

令和4年度

学校要覧



三重県立城山特別支援学校

〒514-0818 津市城山一丁目5番29号
TEL (059) 234-3431 (事務室)

(059) 234-9460 (職員室)

(059) 234-3237 (寄宿舍)

FAX (059) 234-3432

ホームページ <http://www.mie-c.ed.jp/ssiroy/>

目 次

1	本校のミッション（使命、存在意義）	1
2	目指す学校像	1
3	本校の教育目標	1
4	中・長期的な重点目標	3
5	沿革	4
6	教育課程	5
7	児童生徒数及び通学方法	1 3
8	出身市別児童生徒数	1 4
9	校時表	1 4
1 0	職員構成	1 4
1 1	卒業生の進路	1 5
1 2	スクールバス運行表	1 6
1 3	学校運営組織図	1 7
1 4	学校年間行事	1 8
1 5	校舎施設配置図	1 9
1 6	学校案内図	2 1

1 本校のミッション

中勢地域にある肢体不自由特別支援学校として、関係機関との連携をもとに、多様な教育的ニーズのある児童生徒に対して幅広い教育活動を展開し、自立と社会参加の促進を図るとともに、特別支援教育のさらなる充実を目指す。

2 目指す学校像

子どもたちの笑顔があふれ、豊かな学びができ、生活力が高まる学校

3 本校の教育目標

よりよく生きようとする力を育てる

一人ひとりの児童生徒が、安全・安心な教育活動のもとで自己の可能性を伸ばし、社会の一員として明るく強く生きる力を身につける。（校歌一節「明るく強く生きよう」とから）このために、以下の3点を“目指す姿”ととらえて教育活動を展開します

①明るくたくましい子（明朗）

自己の障がいの機能の改善と体力の向上に努め、明るくたくましく生きる力を育てる。

②自分でやりぬく子（自立）

自己のできることを増やし、自ら考え、自主的に解決していける力を育てる。

③助け合う心豊かな子（友愛）

視野を広め、社会性を養い、お互いの人格を尊重し協力し合う豊かな人間性を培う。

小 学 部	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康で丈夫なからだを育てる。 ○ 興味関心を持ち、自分でやってみようとする気持ちを育てる。 ○ 自分の気持ちを表現する力を育てる。 ○ 身近な人と関わる力を育てる。
-------------	---

中 学 部	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な生活習慣を身に付け、健康で充実した心と体を育む。 ○ 自ら考え、行動し、主体的に生きる姿勢を養う。 ○ 自分の思いや意思を自分なりに表現し、相手に伝える力を育てる。 ○ 社会の中で、協調し合う態度を培うとともに、豊かな自己実現に向けた知識・技能や意欲を育てる。
-------------	---

高 等 部	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康的な生活を送るために必要なからだを育てる。 ○ 自己選択や自己決定する力を養う。 ○ 様々な集団行動において、お互いに尊重し合い、協力し合う態度を育てる。 ○ 豊かな社会生活を送るために人と適切に関わる力を育てる。
-------------	--

寄 宿 舎	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康面に留意して、舎生の安全教育と体力向上を図る。 ○ 日常生活に必要な基本的な生活習慣を身につける。 ○ 友だちとの関わりを深め、自分らしさや思いやりの心を育てる。 ○ 社会生活につながる基礎的な力（自主性・協調性・社会性）を育てる。
-------------	---

4 中・長期的な重点目標

安全・安心で開かれた学校づくり

【安全・安心な教育環境の整備】

- 1 保護者との連携に努め、子どもたちの健康面でのサインをしっかりと受け止めながら、適切な対応を心がけると共に、事故のない安全・安心な教育環境を整備していく。
- 2 適切な実施体制のもと医療的ケアを実施し、効果的な教育のために安全で確実な実施ができるよう整備を進める。

【危機管理体制の充実】

- 1 想定される災害（含む防災）等に対して、安全対策の充実を図る。

【人権教育、交流教育の充実】

- 1 人権教育基本方針のもとに、「差別の現実から深く学ぶ」ことを原則に、人権感覚あふれる学校づくりを推進する。
- 2 子どもたちが地域で生きるために、人権尊重の地域づくりをめざして、家庭訪問や交流及び共同学習を行い、その成果や課題を整理し、地域への発信を進める。

【進路指導の充実】

- 1 自立と社会参加を促進するため、医療、福祉、労働等の関係機関との連携を強化し、生徒の多様なニーズに対応することができるよう進路指導の充実を図る。

【寄宿舎における指導の充実】

- 1 自立を育む生活教育の場として寄宿舎での指導の充実を図る。

【学校関係者（外部）との連携】

- 1 学校関係者評価委員と継続的に連携をはかり、自己評価の結果を評価することを通じて、学校、家庭、地域が学校の現状と課題について共通理解を深め、学校運営の改善を促進する。

特別支援教育の推進

【個に応じた教育・支援の充実】

- 1 個別の教育支援計画および個別の指導計画を活用した、きめ細かな指導を図る。
- 2 子どもたちの個々の教育的ニーズに応じた教育課程の編成に努める。
- 3 授業において個別目標を具体化し、効果的な指導が展開できるよう検討をおこなう。また、授業研究を積極的にを行い授業の改善をおこなう。

【センター的機能の充実】

- 1 地域の療育センター、保育所・幼稚園、小・中学校、高等学校等との連携を図り、城山が有している人的資源、物的資源を積極的に提供し、センター的機能の充実に努める。

【教職員の専門性の向上】

- 1 学校の教育力を最大限に発揮するため、外部の専門家の活用も含め、校内外の研修の充実を図る。
- 2 特別支援教育における教職員の専門性の向上を図るため、研修の充実を図る。

学校組織力の向上

【組織能力の向上と、人材育成】

- 1 継続的な分掌等の運営や人材育成等について将来を見据えた課題の積極的な検討を進める。
- 2 自立活動のあり方・内容について検討を進める。
- 3 寄宿舎統合に向けての課題検討に取り組み、統合後に向けた体制整備を進める。
- 4 過重労働を削減するため業務の効率化に努め、総勤務時間の縮減を図る。

5 沿革

- 昭和 32 年 10 月 1 日 県立草の実学園設立と同時に津市立高茶屋小学校草の実分校、津市立南郊中学校草の実分校併設、肢体不自由教育始まる
- 昭和 37 年 3 月 27 日 昭和 37 年度より三重県立肢体不自由養護学校を設立することが県議会で決定
昭和 37 年 2 月 第 1 期工事着工 (5 月完成 第 1 棟のみ)
昭和 37 年 3 月 第 2 期工事着工 (6 月完成 寄宿舍 3、炊事室 1、浴場 1)
昭和 37 年 7 月 第 3 期工事着工 (12 月完成 第 2、第 3、第 4 棟)
昭和 37 年 9 月 第 4 期工事着工 (昭和 38 年 3 月完成 寄宿舍 6、浴場、電気給排水)
昭和 38 年 2 月 第 5 期工事着工 (3 月完成 門、前庭、塀)
- 昭和 37 年 3 月 31 日 津市立高茶屋小学校草の実分校、津市立南郊中学校草の実分校廃止
- 昭和 37 年 4 月 1 日 三重県立養護学校設立
- 昭和 38 年 3 月 16 日 秩父宮妃殿下ご来校
- 昭和 38 年 5 月 11 日 三重県立養護学校竣工式
- 昭和 39 年 5 月 4 日 三重県立養護学校創立記念日に設定
- 昭和 41 年 3 月 19 日 昭和 41 年度より三重県立養護学校に高等部を設置することが県議会で決定
- 昭和 41 年 4 月 1 日 高等部設置
- 昭和 41 年 9 月 22 日 創立 5 周年記念竣工式典挙行 愛の像建立
第 4 回中部地区肢体不自由教育研究会開催
- 昭和 42 年 3 月 31 日 5 教室増築 (318 m²) 運動場整備 (2500 m²)
- 昭和 43 年 6 月 30 日 5 教室増築 (318 m²) 塗装工事
- 昭和 44 年 2 月 16 日 3 教室増築 寄宿舍 3 室増築
- 昭和 46 年 3 月 31 日 高等部職業教室増築
- 昭和 46 年 9 月 21 日 創立 10 周年記念式典挙行 校舎外整備
第 9 回中部地区肢体不自由教育研究会開催
- 昭和 47 年 3 月 31 日 3 室増築 車庫改築
- 昭和 49 年 4 月 1 日 三重県立養護学校鈴鹿分校設置
- 昭和 49 年 8 月 31 日 寄宿舍改修
- 昭和 52 年 4 月 1 日 三重県立城山養護学校と校名変更
鈴鹿分校が三重県立杉の子養護学校として独立
- 昭和 54 年 1 月 1 日 養護学校義務制実施、草の実分教室が分校に昇格。原則として一志郡以北の児童生徒を本校に就学させることに決定
- 昭和 57 年 8 月 4 日 全国肢体不自由養護学校 PTA 連合会の主催による集団療育事業を本校で実施
- 昭和 57 年 10 月 13 日 第 20 回中部地区肢体不自由教育研究会開催
- 昭和 60 年 12 月 13 日 校舎全面改築第 1 期工事、寄宿舍棟工事着工
- 昭和 61 年 1 月 16 日 校舎全面改築第 1 期工事、浄化槽工事着工
- 昭和 61 年 7 月 12 日 第 1 期工事寄宿舍棟竣工
- 昭和 61 年 8 月 22 日 第 2 期工事 (管理・食堂・特別教室) 着工
- 昭和 62 年 4 月 8 日 第 2 期工事 (管理・食堂・特別教室) 竣工
- 昭和 62 年 8 月 18 日 第 3 期工事 (体育館・特別教室) 着工
- 昭和 63 年 3 月 30 日 第 3 期工事 (体育館・特別教室) 竣工
- 昭和 63 年 6 月 30 日 第 4 期工事 (普通教室・特別教室・職員室) 着工
- 平成 元年 3 月 20 日 第 4 期工事 (普通教室・特別教室・職員室) 竣工
- 平成 元年 6 月 13 日 第 5 期工事 (スクールバス発着場・中央廊下・スロープ・作業棟) 着工
- 平成 2 年 3 月 20 日 第 5 期工事 (スクールバス発着場・中央廊下・スロープ・作業棟) 竣工
- 平成 2 年 6 月 13 日 第 6 期工事 (校庭整備) 着工
- 平成 3 年 3 月 29 日 第 6 期工事 (校庭整備) 竣工
- 平成 3 年 11 月 22 日 創立 30 周年・校舎改築竣工・分校増築竣工記念式典挙行、学校創立記念日に変更
友愛の像建立、校歌額作成
- 平成 5 年 4 月 1 日 草の実分校が三重県立草の実養護学校として独立
- 平成 13 年 4 月 1 日 看護師配置
- 平成 16 年 12 月 1 日 スノーブレンルーム開設
- 平成 19 年 4 月 1 日 三重県立城山特別支援学校に校名変更
- 平成 21 年 4 月 1 日 三重県立草の実特別支援学校が統合となり草の実特別支援学校は三重県立城山特別支援学校草の実分校に校名変更
- 平成 24 年 9 月 14 日 各教室空調設備の整備完了
- 平成 29 年 4 月 1 日 三重県立城山特別支援学校草の実分校がかがやき特別支援学校に移管

6 教育課程

小学部

課程 教科等	学年	教育課程Ⅰ・Ⅱ					教育課程ⅢA					教育課程ⅢB				教育課程ⅢC				教育課程Ⅳa			教育課程Ⅳb
		1年	2年	3年	4年	5・6年	1年	2年	3年	4年	5・6年	1年	2年	3年	4・6年	1年	2年	3年	4・6年	1・2年	3・4年	5・6年	
各教科	国語	8	8	6	6	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	1	1	1	1	1	1	1	
	社会			2	2	2															0.5	0.5	
	算数	3	4	4	5	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	
	理科			2	2	2															0.5	0.5	
	生活	3	3				1(5)	1(6)	1(7)	1(8)	1(8)	(5)	(6)	(7)	(8)	(5)	(6)	(7)	(8)	1			(0.8)
	音楽	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.5	0.5	0.4	(0.8)
	図画工作	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.5	0.3	0.3	(0.8)
	家庭					1																0.2	
	体育	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		0.1	0.1	
	外国語					2																0.3	
特別の教科	道徳	1	1	1	1	1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	0.5	0.3	0.2	(0.5)
領域別	特別活動	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	◇	◇	◇	* (0.1)
	自立活動	5	5	5	5	5	4(5)	4(5)	4(6)	4(6)	3(6)	5(5)	5(5)	5(6)	5(6)	8(5)	8(5)	8(6)	8(6)	1.5	1	1	3
総合的な学習の時間				2	2	2															0.6	0.5	
外国語活動				1	1						1										0.2		
週あたりの授業時数		25	26	28	29	29	25	26	28	29	29	25	26	28	29	25	26	28	29	6	6	6	6

*Ⅲ課程においては各教科、道徳科及び自立活動を合わせた指導を行う。
Ⅳb課程においては各教科、道徳科及び特別活動(※印)を合わせた指導を行う。

*Ⅳa課程の特別活動(◇)は適宜実施する。

教育課程Ⅰ→ 小学校の学習指導要領に準ずる教育課程

教育課程Ⅱ→ 小学校の下学年代替による教育課程

教育課程Ⅲ→ 知的障害者を教育する特別支援学校の各教科と代替した教育課程

ⅢA→ 小学部3段階

ⅢB→ 小学部2段階

ⅢC→ 小学部1段階

教育課程Ⅳa→ 小学校の学習指導要領に準ずる内容の訪問教育課程

教育課程Ⅳb→ 知的障害者を教育する特別支援学校の各教科と代替した内容(小学部1段階)の訪問教育課程

中学部

教育課程 学年 教科等		教育課程Ⅰ・Ⅱ			教育課程Ⅲ			教育課程Ⅳ
		1年	2年	3年	A	B	C	
					1年～ 3年	1年～ 3年	1年～ 3年	
各教科	国語	4	4	3	1(2)	1(2)	1(2)	(0.5)
	社会	3	3	4	1	(1)	(1)	
	数学	4	3	4	1(2)	1	1	
	理科	3	4	4	1	(1)	(1)	
	音楽	1	1	1	3	3	3	(1)
	美術	1	1	1	2	2	2	(1)
	保健体育	2	2	2	2	2	2	
	技術・家庭	2	2	1				
	職業・家庭				2	2	(1)	
	外国語	4	4	4	1			
特別の教科	道徳	1	1	1	(1)	(1)	(1)	(0.4)
領域別	特別活動	1	1	1	1	1	3	* (0.1)
	自立活動	2	2	2	2(5)	5(6)	7(5)	3
総合的な学習の時間		1	1	1	2	2		
週あたりの授業時数		29	29	29	29	29	29	6

* (数字) は合わせた指導で取り扱う時数。

教育課程Ⅰ → 中学校の学習指導要領に準ずる教育課程

教育課程Ⅱ → 中学校の下学年(下学部)代替による教育課程

教育課程Ⅲ → 知的障害者を教育する特別支援学校の各教科と代替した教育課程

ⅢA → 中学部1、2段階 小学部3段階

ⅢB → 小学部2段階

ⅢC → 小学部1段階

教育課程Ⅳ → 訪問教育*スクーリング時に実施

高等部
令和2年度入学生 教育課程Ⅰ・Ⅱ

教科科目	教育課	標準 単位数 学年	教育課程Ⅰ			教育課程Ⅱ		
			1年	2年	3年	1年	2年	3年
国語	国語総合	4	3	2		2	3	3
	国語表現	3			3			
	現代文A	2		1	1			
	古典A	2		1	1			
地理歴史	世界史A	2	2		□2	2		
	日本史A	2			□2			●2
	地理A	2			2			2
公民	現代社会	2		2	□2		2	
	倫理	2			□2			●2
	政治・経済	2			□2			●2
数学	数学Ⅰ	3	4				3	3
	数学Ⅱ	4		2	2			
	数学A	2		2				
	数学基礎(学)					2		
理科	科学と人間生活	2	2			2	2	
	物理基礎	2		◎2	□2			●2
	化学基礎	2		◎2	□2			●2
	生物基礎	2		◎2	□2			●2
	地学基礎	2		◎2	□2			●2
保健体育	体育	7~8	2	2	3	2	2	3
	保健	2	1	1		1	1	
芸術	音楽Ⅰ	2		1	1	1	1	1
	美術Ⅰ	2		1	1	1	1	1
外国語	コミュニケーション英語基礎	2				2		
	コミュニケーション英語Ⅰ	3	4				2	4
	コミュニケーション英語Ⅱ	4		2◆2				
	コミュニケーション英語Ⅲ	4			◆3			
	英語表現Ⅰ	2		1	1			
家庭	家庭基礎	2	2			2	2	
情報	社会と情報	2	2			2		
総合(学)	産業社会と人間(学)	2~4	3	3	3	3	3	3
商業	ビジネス基礎	2~4		◆2				
	課題研究	2~6			◆3			
情報	情報産業と社会			◆2				
	課題研究				◆3			
科目の単位数の計			25	25	23	22	22	22
自立活動			2	2	4	5	5	5
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	1	1	1
総合的な探究の時間			3~6	2	2	2	2	2
週あたりの授業時数			30	30	30	30	30	30

- *□●◎◆は、同じ記号内で各学年1科目を選択するものとする。
- *教育課程Ⅰの2年次に選択した◆の教科は、3年次でも同教科を選択する。
- *道徳に関しては、道徳教育全体計画に基づき、教育活動全体を通じて取り扱う。
教育課程Ⅰ→高等学校の学習指導要領に準ずる教育課程
教育課程Ⅱ→下学年もしくは下学部代替による教育課程

令和3年度入学生 教育課程Ⅰ・Ⅱ

教科	科目	標準 単位数	教育課程Ⅰ			教育課程Ⅱ		
			1年	2年	3年	1年	2年	3年
国語	国語総合	4	4			2	3	3
	国語表現	3			3			
	現代文A	2		2				
	古典A	2		2				
地理歴史	世界史A	2	2			2		
	日本史A	2			□2			●2
	地理A	2			2			2
公民	現代社会	2		2			2	
	倫理	2			□2			●2
	政治・経済	2			□2			●2
数学	数学Ⅰ	3	3				3	3
	数学Ⅱ	4		2	2			
	数学A	2		2				
	数学B	2			☆2			
	数学基礎(学)					2		
理科	科学と人間生活	2	2			2	2	
	物理基礎	2		◎2	◎2			●2
	化学基礎	2		◎2	◎2			●2
	生物基礎	2		◎2	◎2			●2
保健体育	体育	7~8	2	2	3	2	2	3
	保健	2	1	1		1	1	
芸術	音楽Ⅰ	2		1	1	1	1	1
	美術Ⅰ	2		1	1	1	1	1
外国語	コミュニケーション英語基礎	2				2		
	コミュニケーション英語Ⅰ	3	4				2	4
	コミュニケーション英語Ⅱ	4		4				
	コミュニケーション英語Ⅲ	4			☆2			
	英語表現Ⅰ	2			2			
家庭	家庭基礎	2	2			2	2	
情報	社会と情報	2	2			2		
総合(学)	産業社会と人間(学)	2~4	3	3	3	3	3	3
科目の単位数の計			25	24	23	22	22	22
自立活動			2	3	4	5	5	5
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	1	1	1
総合的な探究の時間			3~6	2	2	2	2	2
総授業時間数			30	30	30	30	30	30

- * I課程2年次において、◎から2単位選択する。
- * I課程3年次において、□・☆・◎からそれぞれ2単位選択する。ただし、理科は2年次と同一科目は選択できない。
- * II課程3年次において、●から2単位を選択する。
- * 道徳に関しては、道徳教育全体計画に基づき、教育活動全体を通じて取り扱う。

教育課程Ⅰ→高等学校の学習指導要領に準ずる教育課程
 教育課程Ⅱ→下学年もしくは下学部代替による教育課程

令和4年度入学生 教育課程 I・II

教科	科目	教育課程 標準 単位数	教育課程 I			教育課程 II		
			学年	1年	2年	3年	1年	2年
国語	現代の国語	2	2			3		
	言語文化	2	2			1	1	
	論理国語	4		2	2			
	文学国語	4						
	国語表現	4					2	2
	古典探究	4		2	2			
地理歴史	地理総合	2		2			2	
	地理探究	3			○3			●4
	歴史総合	2	2			2		
	日本史探究	3		○3	○3			●4
	世界史探究	3		○3	○3			●4
公民	公共	2	2			2		
	倫理	2		●2	●2		●4	
	政治・経済	2		●2	●2		●4	
数学	数学Ⅰ	3	3			2	2	2
	数学Ⅱ	4		2	3			
	数学Ⅲ	3						
	数学A	2		2				○4
	数学B	2			●2			
	数学C	2						
理科	科学と人間生活	2	2			2	2	
	物理基礎	2		◎2	◎2			◎4
	物理	4						
	化学基礎	2		◎2	◎2			◎4
	化学	4						
	生物基礎	2		◎2	◎2			◎4
	生物	4						
	地学基礎	2		◎2	◎2			◎4
地学	4							
保健体育	体育	7~8	2	2	3	2	2	3
	保健	2	1	1		1	1	
芸術	音楽Ⅰ	2	1	1		1	1	
	音楽Ⅱ	2						
	美術Ⅰ	2			2		1	1
	美術Ⅱ	2						
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	4			2	2	2
	英語コミュニケーションⅡ	4		2	2			
	英語コミュニケーションⅢ	4						
	論理・表現Ⅰ	2			2			○4
	論理・表現Ⅱ	2						
	論理・表現Ⅲ	2						
家庭	家庭基礎	2	1	1		2	2	
	家庭総合	4						
情報	情報Ⅰ	2	2			2		
	情報Ⅱ	2			●2			○4
総合的な探究の時間		3~6	2	2	2	2	2	2
自立活動			3	3	4	5	5	5
特別活動			1	1	1	1	1	1
週あたりの授業時数			30	30	30	30	30	30

- * 教育課程Ⅰ 2年次は、●◎から2単位、○から3単位それぞれ科目を選択する。
- * 教育課程Ⅰ 3年次は、●◎から2単位、○から3単位それぞれ科目を選択する。
- * ただし、地理歴史、公民、理科は2年次と同一科目は選択できない。
- * 教育課程Ⅱ 2年次は、●から4単位科目を選択する。
- * 教育課程Ⅱ 3年次は、●◎○から4単位それぞれ科目を選択する。

令和2年度入学生 教育課程Ⅲ・Ⅳ

教科等		教育課程		教育課程Ⅲ									教育課程Ⅳ		
				A			B			C					
		1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年		
各教科	国語	1	1	1	1	1	1	1	1	1	☆	☆	☆		
	社会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	☆	☆	☆		
	数学	1	1	1	1	1	1	1	1	1	☆	☆	☆		
	理科	1	1	1	1	1	1	☆	☆	☆	☆	☆	☆		
	音楽	2	2	2	2	2	2	2	2	2	☆	☆	☆		
	美術	1	1	1	1	1	1	1	1	1	☆	☆	☆		
	保健体育	2	2	2	1	1	1	1	1	1	☆	☆	☆		
	職業	◇	◇	◇	◇	◇	◇	☆	☆	☆	☆	☆	☆		
	家庭	◇	◇	◇	◇	◇	◇	☆	☆	☆	☆	☆	☆		
	外国語	1	1	1	1	1	1	☆	☆	☆	☆	☆	☆		
特別の教科	道徳	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★		
領域別	特別活動	1	1	1	1	1	1	1	1	1	※	※	※		
	自立活動	4	4	4	6	6	6	11	11	11	3	3	3		
合わせた指導	日常生活の指導	9	9	9	9	9	9	9	9	9	3	3	3		
	作業学習	4	4	4	3	3	3								
総合的な探究の時間		2	2	2	2	2	2	2	2	2					
週あたりの授業時数		30	30	30	30	30	30	30	30	30	6	6	6		

* 日常生活の指導では、各教科（☆印）、道徳科（★印）、特別活動（※印）及び自立活動を合わせた指導を行う。

* 作業学習では、各教科（◇印）および自立活動を合わせた指導を行う。

* 教育課程Ⅲ（A・B・C）→知的障害者を教育する特別支援学校の各教科と代替した教育課程

* 教育課程Ⅳ→訪問教育

令和3年度入学生 教育課程Ⅲ・Ⅳ

教育課 教科等		教育課程Ⅲ									教育課程Ⅳ		
		A			B			C					
		1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
各教科	国語	4	4	4	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)			
	社会	2 (1)	2 (1)	2 (1)	1	1	1	(1)	(1)	(1)	(0.5)	(0.5)	(0.5)
	数学	4	4	4	1 (1)	1 (1)	1 (1)	(1)	(1)	(1)			
	理科	2	2	2	1 (1)	1 (1)	1 (1)	(2)	(2)	(2)	(0.5)	(0.5)	(0.5)
	音楽	1	1	1	1	1	1	1	1	1	(0.5)	(0.5)	(0.5)
	美術	1	1	1	1	1	1	1	1	1	(0.5)	(0.5)	(0.5)
	保健体育	2	2	2	1	1	1	1	1	1			
	職業	(2)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)						
	家庭	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)						
	外国語												
特別の教科	道徳	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(0.5)	(0.5)	(0.5)
領域別	特別活動	1	1	1	1	1	1	1	1	1	(0.5)	(0.5)	(0.5)
	自立活動	5 (1)	5 (1)	5 (1)	13 (1)	13 (1)	13 (1)	16 (1)	16 (1)	16 (1)	3	3	3
総合的な探究の時間		2	2	2	2	2	2	2	2	2			
週あたりの授業時数		30	30	30	30	30	30	30	30	30	6	6	6

* (数字)は合わせた指導で取り扱う時数。

教育課程Ⅲ → 知的障害者を教育する特別支援学校の各教科と代替した教育課程
(A・B・C)

教育課程Ⅳ → 訪問教育

令和4年度入学生 教育課程Ⅲ・Ⅳ

教育課程 教科等		教育課程Ⅲ									教育課程Ⅳ		
		A			B			C			1年	2年	3年
		1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年			
各教科	国語	4	4	4	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)			
	社会	2 (1)	2 (1)	2 (1)	1	1	1	(1)	(1)	(1)	(0.5)	(0.5)	(0.5)
	数学	4	4	4	1 (1)	1 (1)	1 (1)	(1)	(1)	(1)			
	理科	2	2	2	1 (1)	1 (1)	1 (1)	(2)	(2)	(2)	(0.5)	(0.5)	(0.5)
	音楽	1	1	1	1	1	1	1	1	1	(0.5)	(0.5)	(0.5)
	美術	1	1	1	1	1	1	1	1	1	(0.5)	(0.5)	(0.5)
	保健体育	2	2	2	1	1	1	1	1	1			
	職業	(2)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)						
	家庭	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)						
	外国語												
特別の教科	道徳	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(0.5)	(0.5)	(0.5)
領域別	特別活動	1	1	1	1	1	1	1	1	1	(0.5)	(0.5)	(0.5)
	自立活動	5 (1)	5 (1)	5 (1)	13 (1)	13 (1)	13 (1)	16 (1)	16 (1)	16 (1)			
総合的な探究の時間		2	2	2	2	2	2	2	2	2			
週あたりの授業時数		30	30	30	30	30	30	30	30	30	6	6	6

* (数字)は合わせた指導で取り扱う時数。

教育課程Ⅲ →知的障害者を教育する特別支援学校の各教科と代替した教育課程
(A・B・C)

教育課程Ⅳ →訪問教育

7 児童生徒数及び通学方法

令和4年5月1日現在

学部	学 級	生徒数計	通 学 方 法			訪 問
			SB	自主	寄宿舎	
小 学 部	2年	1	0	0	1	0
	1組	3	2	1	0	0
	2組	2	1	1	0	0
	3組	3	0	3	0	0
	4組	2	0	2	0	0
	5組	3	1	2	0	0
	6組	2	1	1	0	0
	7組	2	1	1	0	0
	8組	3	1	2	0	0
	9組	2	1	1	0	0
	10組	2	0	0	0	2
	11組	3	0	0	0	3
	小 計	28	8	14	1	5
中 学 部	2年	1	0	1	0	0
	3年	1	0	1	0	0
	1組	3	2	1	0	0
	2組	2	2	0	0	0
	3組	2	1	1	0	0
	4組	3	1	1	1	0
	5組	2	0	2	0	0
	小 計	14	6	7	1	0
高 等 部	1組	3	1	2	0	0
	2組	3	2	1	0	0
	3組	3	3	0	0	0
	4組	3	2	1	0	0
	5組	3	1	2	0	0
	6組	3	2	1	0	0
	7組(訪問)	2	0	0	0	2
	8組	1	0	1	0	0
	小 計	21	11	8	0	2
合 計	63	25	29	2	7	

8 出身市別児童生徒数

令和4年5月1日現在

	鈴鹿市	亀山市	津市	その他の地域	合計
小学部	2	2	21	3	28
中学部	5	0	8	1	14
高等部	3	3	14	1	21
合計	10	5	43	5	63

9 校時表

	小学部	中学部・高等部
第1限	8:55 ~ 9:40	8:55 ~ 9:45
第2限	9:50 ~ 10:35	9:50 ~ 10:40
第3限	10:45 ~ 11:30	10:45 ~ 11:35
第4限	11:40 ~ 12:25	11:40 ~ 12:30
昼食・休憩		
第5限	13:15 ~ 14:00	13:15 ~ 14:05
第6限	14:10 ~ 14:55	14:10 ~ 15:00
○スクールバス学校発車時刻		
通常の日～金		15:05
短縮日課		13:15
特別日課（始業式、入学式等）		11:05

10 職員構成

校長	教頭	教諭	講師	非常勤講師	養護教諭	実習指導員	寄宿舎指導員	栄養職員	事務長	事務員	学校図書	学校教育技術員	介助員（看護師）	調理員	バス添乗員	その他職員	小計	学医	歯科医	眼科医	薬剤師	産科医	小計	合計	
1	1	51	8	11	2	4	8	2	1	3	1	2	2	4	6	6		113	2	1	1	1	1	6	119

11 卒業生の進路（過去10年間）

年 度	学 部	卒 業 時 進 路								合 計
		進 学	職 業 能 力 開 発 校	就 職	各 種 学 校	福 祉 的 就 労	生 活 介 護	施 設 入 所	そ の 他	
24	中	1								1
	高			1			5			6
25	中	7								7
	高					4	10			14
26	中	6								6
	高	1		1		1	8			11
27	中	6								6
	高		1		1		2		1	5
28	中	9								9
	高						6			6
29	中	6								6
	高						7			7
30	中	4								4
	高						7			7
31	中	8								8
	高			1			6		1	8
R2	中	11								11
	高			1			5		1	8
R3	中	4					1			5
	高					2	6	1		9

12 スクールバス運行表

鈴鹿コース

(登校)	(下校)
鈴鹿市役所 7:05	
	鈴鹿市消防本部 16:15
鈴鹿体育館 7:15	16:05
千里 7:35	15:50
白塚 7:45	
桜橋 ショッピングタウン・ノバ 8:10	イオン津 15:30
住吉町 8:20	15:25
学 8:45	校 15:05

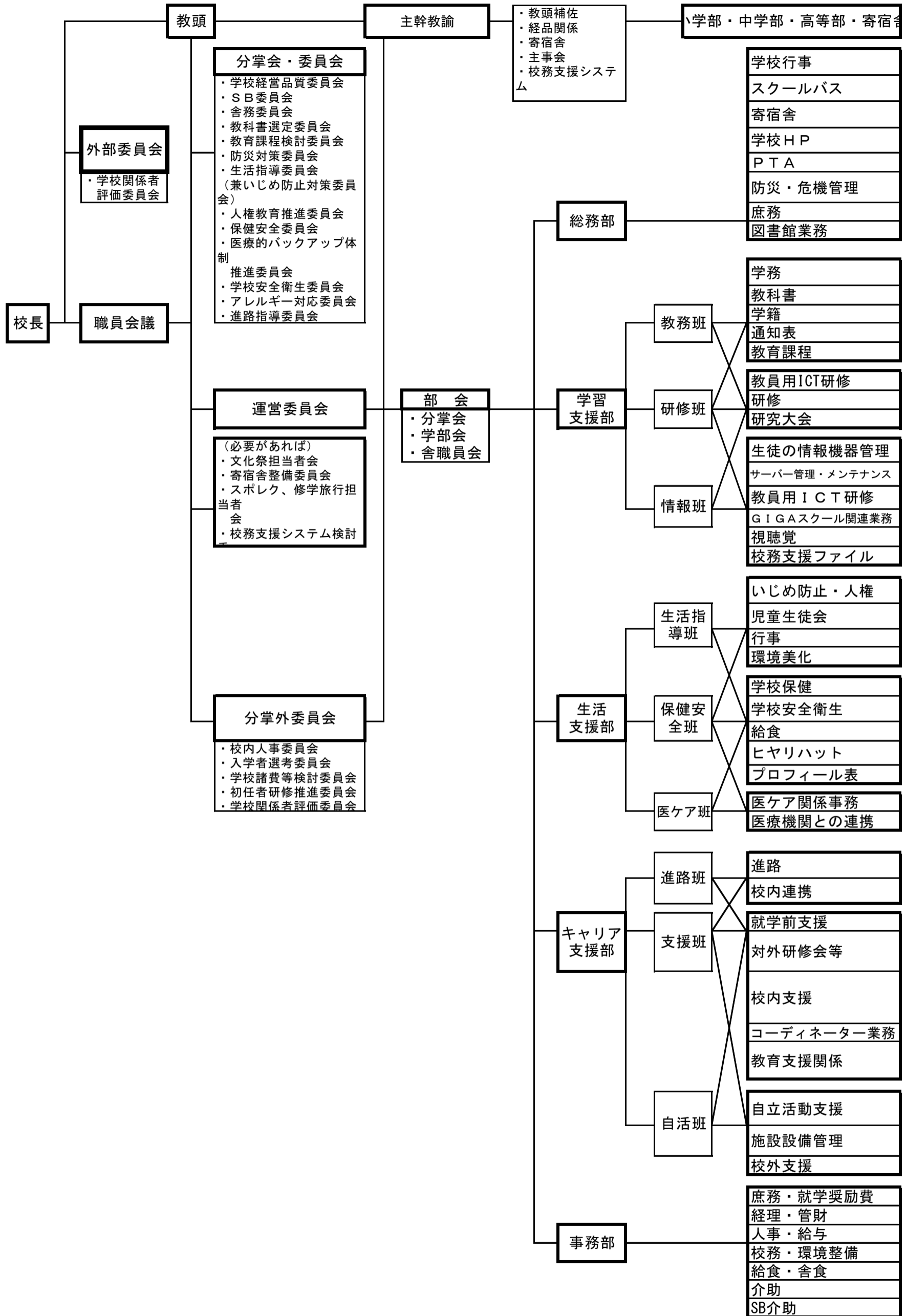
亀山コース

(登校)	(下校)
和田 7:15	16:15
亀山医療センター 7:20	16:05
芸濃町 (ザ・ビッグ) 7:45	15:45
メッセウイング 8:15	15:25
立合町 8:30	15:15
学 8:45	校 15:05

一志コース

(登校)	(下校)
中川 7:35	15:55
みのりが丘前 7:45	
一志庁舎前 7:55	田尻 15:37
戸木口 8:15	15:27
久居駅西口 8:25	15:23
学 8:45	校 15:05

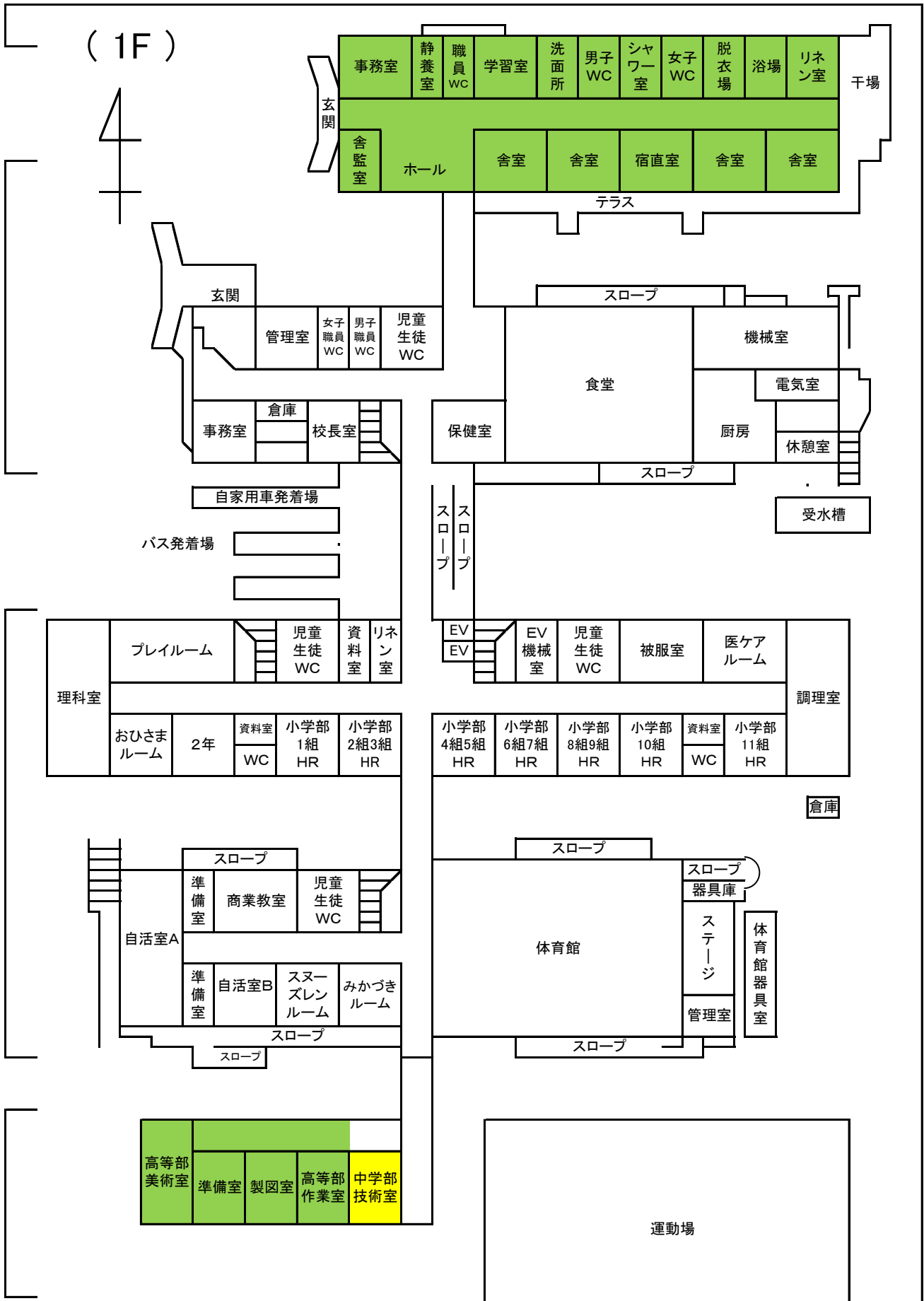
13 学校運営組織図



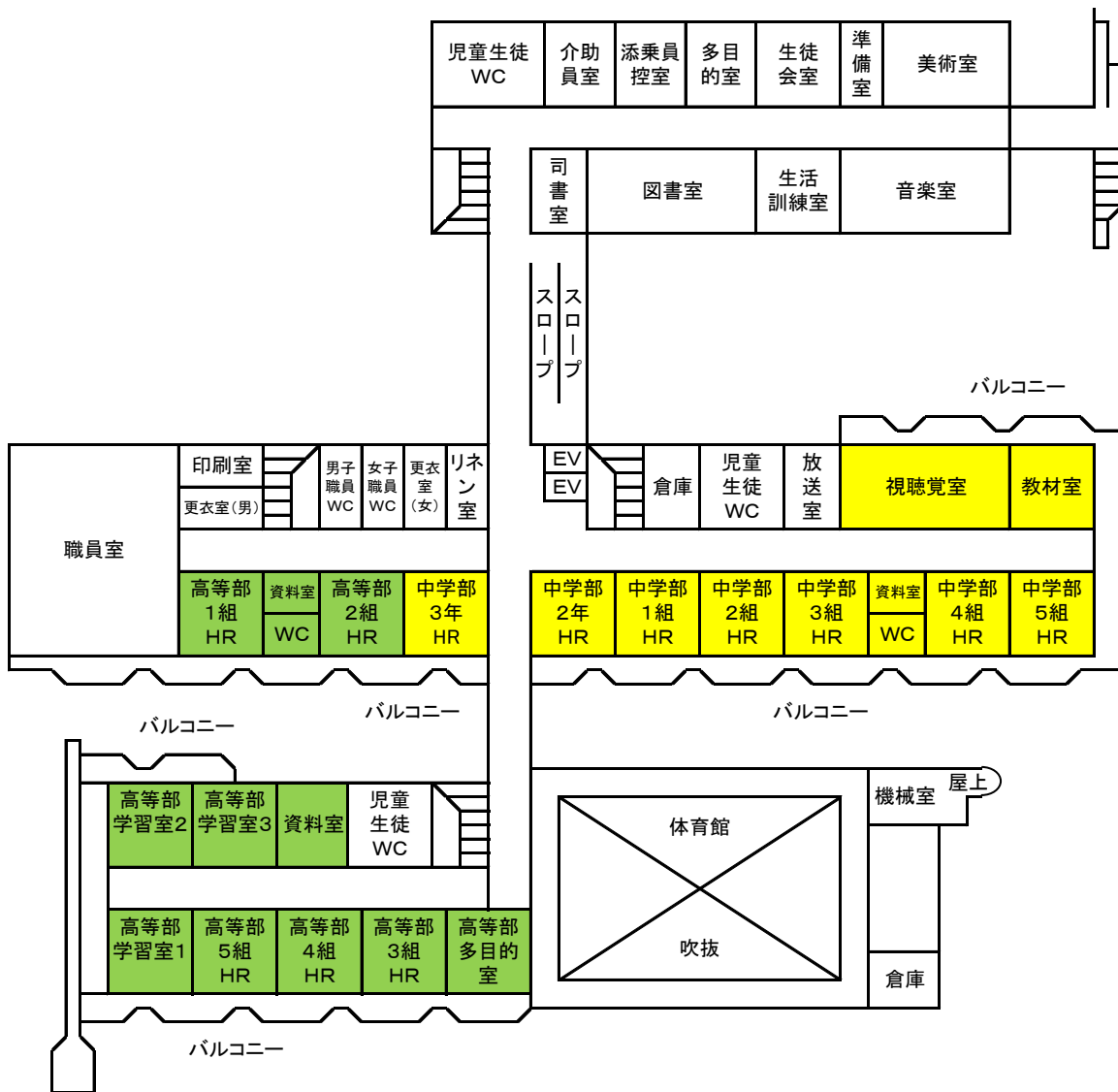
14 学校年間行事

月	学校全体	小学部	中学部	高等部	寄宿舎
4月	○始業式 ○入学式 ○身体測定、聴力検査 心電図検査、眼科検診 視力検査、尿検査、X線検査			○学部集会 ○進路懇談会	○開舎 ○進級を祝う会 ○避難訓練
5月	○体重測定 ○視力検査、尿検査 耳鼻科検診、歯科検診 整形検診、内科検診 ○危機対応訓練 ○PTA総会 ○保護者懇談会		○スポレク	○学部懇談会	
6月	○体重測定 ○学校見学会	○宿泊学習(城山) ○スポレク	○宿泊学習(城山)	○宿泊学習(城山) ○スポレク	
7月	○体重測定 ○保護者懇談会 ○大掃除 ○終業式			○高3 現場実習	○夏のお楽しみ会 ○閉舎
8月					
9月	○始業式 ○身体測定 ○危機対応訓練		○修学旅行(伊勢志摩)		○開舎 ○避難訓練
10月	○体重測定 ○文化祭	○修学旅行(伊勢志摩)		○高1・2現場実習	
11月	○体重測定			○修学旅行(大阪)	
12月	○体重測定 ○保護者懇談会 ○大掃除 ○終業式				○冬のお楽しみ会 ○閉舎
1月	○始業式 ○身体測定 ○災害伝言ダイヤル体験 ○危機対応訓練				○開舎 ○避難訓練
2月	○体重測定 ○高等部入学者選考	○入学説明会 ○卒業を祝う会	○卒業を祝う会 ○入学説明会	○卒業を祝う会	
3月	○体重測定 ○卒業式 ○保護者懇談会 ○大掃除 ○修了式			○入学選考(再募集) ○入学説明会	○春のお楽しみ会 ○閉舎
		○交流学习(立成小) ○校外学習	○校外学習 ○交流学习(西郊中)		○誕生会 ○季節行事 ○交流

15 校舎施設配置図



(2F)



校地面積	18,427㎡
校舎面積	7,368㎡
寄宿舎面積	768㎡
運動場面積	3,691㎡

16 学校案内図

〒514-0818 津市城山一丁目5番29号

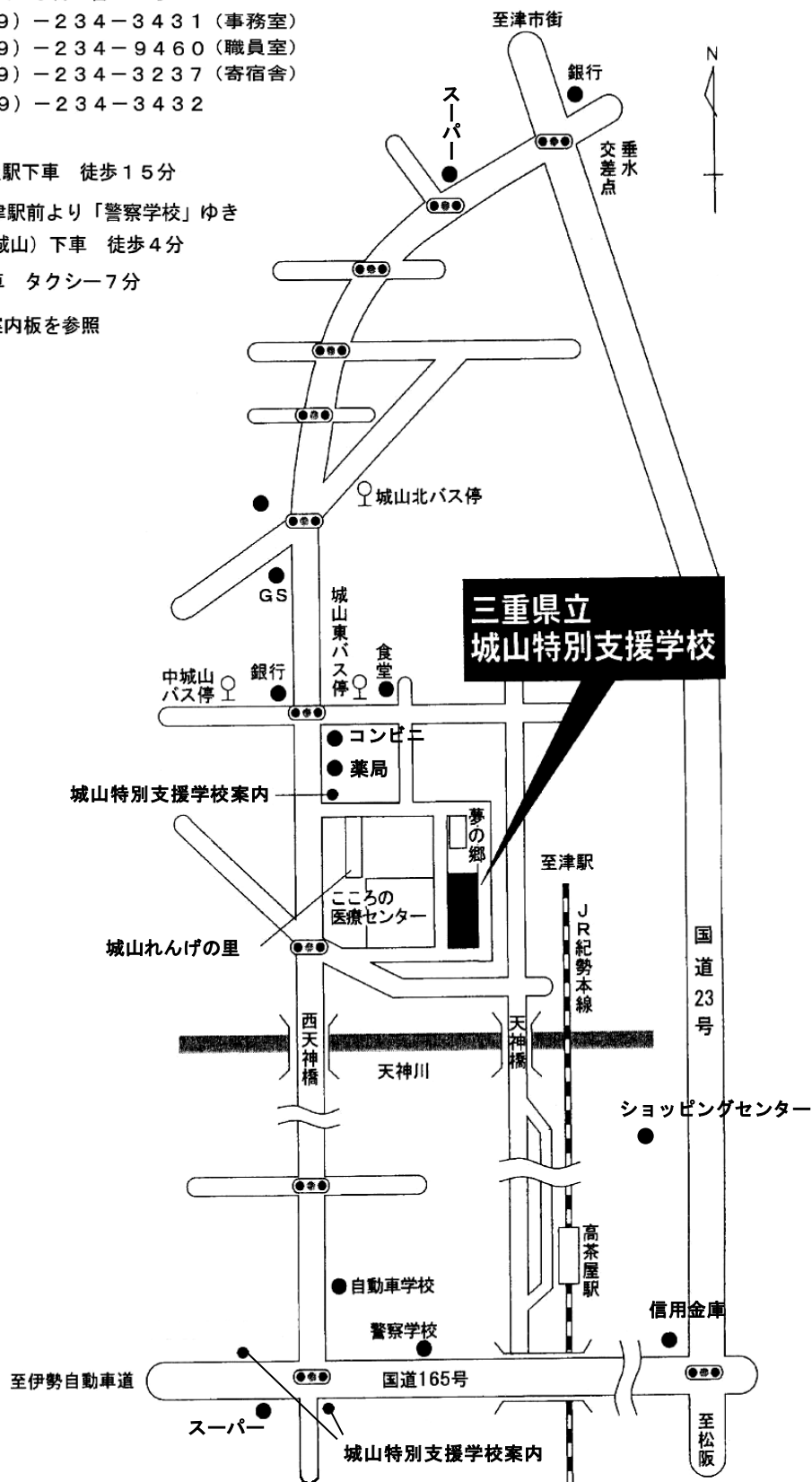
TEL (059)-234-3431 (事務室)

(059)-234-9460 (職員室)

(059)-234-3237 (寄宿舍)

FAX (059)-234-3432

- JR東海・高茶屋駅下車 徒歩15分
- 三重交通バス・津駅前より「警察学校」ゆき「城山東」(中城山)下車 徒歩4分
- 近鉄・久居駅下車 タクシー7分
- 自家用車の方は案内板を参照





校章の由来

本県のシンボルでもある威勢の良いイセエビにあやかって、障がいを克服して精進してほしいという願いを込めたものです。

三尾にしたのは、三重の意のほか、小・中・高の三学部、児童生徒・職員・保護者の三者、本校教育の柱である明朗・自立・友愛などを意味するものです。

それを組み合わせて円形にし、三者の協調と人格の円満と和を祈念しました。